



南三陸通信 Vol.3

東日本大震災復興支援として、宮城県南三陸町へ現在派遣している白武和磨主査からのお便り第3号です。

7月25日に南三陸町志津川地区復興まちづくり事業着工式が行われました。

来賓には、復興副大臣（宮城復興局担当）、国土交通省東北地方整備局長、地元選出の衆議員、参議員、宮城県知事、宮城県議会議員、町長、町議会議員他地元関係者総勢約90人（代理を含む）が参加。着工式では、鍬入れののち、町長の「着工開始！」の号令のもと、切土掘削が開始されました。

また、志津川市街地復興まちづくり住民説明会を7月末～8月初めにかけて実施しました。

南三陸町では「なりわいの場所は様々であっても、住まいは高台に」をコンセプトに復興に向けた事業として、高台移転事業（東・中央・西地区）で防災集団移転促進事業、災害公営住宅事業、公共公益施設の整備を行っています。説明会では、町長、復興市街地整備課だけでなく、町復興事業を統括する企画課、集団移転などを担当する復興事業推進課、仙台河川国道事務所、気仙沼土木事務所（道路、河川）、気仙沼地方振興事務所（港湾）も参加し、延べ約350人に説明を行いました。

復興の音（なごみ）が、だんだん近づいているという実感がわいてきています。

新メンバーで多久の「旬」な魅力を発信

『Heeeroo!多久』を聴こう!

F M佐賀のスタジオから毎週月曜日お昼12時から55分間の生放送でお届けしている多久の情報発信番組『Heeeroo!多久』のディレクターが8月より新しくなりました。

Heeeroo!多久（愛称：ハロタク）は多久市の観光広報ラジオ放送事業で制作しているものです。市内の学校や保育園の子どもたちの声、おでかけ情報や旬の食べ物、イベント情報など盛りだくさんで発信します。

情報収集やレポートで市内を飛び回り、多久の魅力をみなさんにお伝えします!!



◀ディレクター兼ミキサーのこ小寺正剛さん（写真中央）、パーソナリティーのわ脇田達司さん（写真右）、お大川内麻衣子さん（写真左）

多久に住んでいるあなたも知らない多久の魅力を掘り起こします。みなさんからのメッセージや、リクエスト、情報をお待ちしています。

番組へのメッセージはこちらから

✉taku@fmsaga.co.jp / ☎25-1462

市長コラム

温故創新

Message for citizen

未来を拓く改革のステージ

市長 横尾俊彦

社会保障制度改革に関する国民会議の議論がまとめられ政府に提案された。それを受けて安倍総理大臣は改革プログラムを公表された。

それによれば今後3～4年で社会保障に関する広範な改革が進もうとしている。本人負担や公的支援の見直しもあるが、全体として持続可能な制度にするための取り組みでもある。持続可能な制度にならなければ国民の将来的な安心も確立できないからであり、財源議論は今後とも重要となる。

あわせてマイナンバー導入も予定されている。国民一人ひとりに、的確で迅速な行政サービスを提供することを可能にする新たな社会インフラとなる予定だ。欧米諸国ですでに医療や福祉、税の確定申告等広く活用され利便性を高めている。

さらに地方分権改革・道州制など、従来の行政にない改革も推進される見通しもある。教育改革の推進、経済成長戦略の充実などもある。全体としては国家の繁栄戦略の構築と実践であり、まさに前例のない改革・変革の時代到来といえよう。

いわば海図のない大海原に船をこぎ出すような状況ともいえる。この難所をいかに乗り越え、豊かな未来を構築するか。国でも地方でも縦割り行政や因襲を打破し、未来創造努力が欠かせない。官民が真に協働し、それぞれの分野でチャレンジし、互いに協力することが重要となる。

未来は今から始まっている。今日の誠実な努力は明日を創る基礎である。私たち一人ひとりが未来を担う存在だと自覚し、未来を拓きたいものだ。